

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年(2019年)3月29日

上田地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	11	課題区分	C			
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	林務課(普及林産係)
事業名	森林認証材利用拡大推進事業				電話	0268-25-7138
				E-mail	uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	地域内で生産された森林認証材の利用拡大				
	現状と課題	<p>東京オリンピック・パラリンピックの選手村や競技施設の整備等においては、国際基準に合致した森林認証制度(FSC、SGEC)に基づく認証材が採用されるなど、持続的な森林経営を行っている森林から生産された認証材は国際的に標準となってきた。</p> <p>このような中、上田地域では県や市町村等が管理する森林約9千haで、平成28年度にSGEC森林認証制度に基づく森林認証(FM森林)を取得。その後、佐久地域や南信州地域の一部でも当該認証制度に基づくFM森林認証を取得。さらには県内の木材市場や製材工場等でも森林認証材を適切に分別・管理するため流通加工認証(CoC認証)の取得が進んできている。</p> <p>しかし、国内での森林認証材の需要はオリンピック・パラリンピック関連施設以外では非常に少ない状況であり、地域内外において森林認証材の普及・浸透を進めて利用促進を図る必要がある。</p>				
内容	1 ねらい	森林認証材の利点である①持続的な森林経営を行っている森林(FM森林)から生産された木材であること、②生産から加工流通までのトレーサビリティが明確(CoC認証)であることをPRし、認証材の「地消地産」や「普及浸透」を図る。				
	2 ターゲット	地域内の工務店・建築士等(住宅を建築・改築しようとする施主(エンドユーザー)を含む)や地方自治体及び地域貢献・環境保全に関心の高い民間企業等。				
等	3 方法	エンドユーザーにもわかりやすいリーフレットを作成・配布するとともに、信州木材認証製品センター等と連携し、地域内や首都圏でのイベントにおいてPR活動を実施する。				
	事業期間	平成30年8月			～	平成31年2月
	成果目標 (成果指標)	地域内の森林認証材出荷量 (H29) 16,520m ³ → (5年後) 25,000m ³				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考	
	森林認証材利用推進事業	信州森林認証・認証材フェア等		117,440	PR活動旅費、カラマツ認証材	
	森林認証材利用推進事業	PRパンフレット等作成		182,520	パンフレット、クリアファイル	
	合計			299,960		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	<p>○地域内でのPR活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRイベント 3回(森林祭、産業展、フォーラム) ・工務店へのPR活動 3回(整備活動も実施) ・自治体へのPR活動 2回 ・他地域との連携会議 3回(佐久地域ほか) <p>○県外でのPR活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRイベント 1回(東京スカイツリー/7日間) ・自治体へのPR活動 3回 ・学校へのPR活動 4回 ・県外視察研修 1回 		<p>○地域内外での連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内での取組に加え、県内各地の協議会等と連携した活動に発展。 ・工務店と連携してエンドユーザーへPRする活動に着手。 <p>○認証森林や認証材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の公立学校が長和町の認証森林を来年度から活用開始。 ・東京都の自治体が施設改修工事で上田市の認証材活用を計画。 		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>	
今後の方向性	<p>認証森林や認証材の認知度向上に向けた情報発信や活用事例を増やす必要がある。</p> <p>→ 市町村や認証協議会、流通加工業者等との連携や、建築士・工務店等へのPRの強化。</p> <p>地域内や都市部(森林環境譲与税の活用含む)の公共施設等での活用を促進する。</p>					